

秋田市の子ども食堂「みんなのテーブル」

桃の節句に合わせて ちらしずしを味わう



秋田市広面の子ども食堂「みんなのテーブル」で3日、桃の節句に合わせたメニューが提供された。子どもや保護者約80人がちらしずしなどを味わい、ひな祭りを楽しんだ。

この日のメニューは、エビやサーモンなどをのせた彩り豊かなちらしずしに、タケノコやアサリの吸い物、サラダ。夕方になると家族連れが続々と来場。和やかに会話をしながら、季節の食材を頬張った。

同市の大山勇李さん(12)は「行事に合わせた料理でうれしい」と話した。妹の美雨さん(9)は「セリやタケノコなどの野菜がおいしかった」と笑顔を見せた。

秋田調理師大秋会(植村勝会長)に所属する和食料理人の店舗などが食材を提供。会員4人が調理を担当した。植村会長(52)は「食事を通して、子どもたちに料理人の仕事について知ってもらえたらうれしい」と話した。

みんなのテーブルはバスケットボール男子Bリーグ1部・秋田ノーザンハピネッツの運営会社が開設。広面店は火、水、金、土曜に営業し、中学生以下の子どもには無料で食事を提供している。(高橋美佳)

(令和8年3月8日(日) 秋田さきがけ新聞より一部抜粋)